

科目名	自然保育Ⅱ			担当	酒井 真由子・市東 賢二・堤 裕美		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	—
必修	保育士：選択必修 レク：選択必修			ナンバリング	Y3206	DPとの関連	4
授業概要	<p>「自然保育Ⅰ」の学修をもとに、仲間と協力しながら、附属幼稚園の園児を対象とした自然保育の内容を考え、立案、準備、改善、実施し、省察を行い、ドキュメンテーション（記録）を作成する。実際の自然保育の体験を通して、自然保育の実践者として必要となる自然体験活動の基礎的知識と子どもの認識・思考・動き等を視野に入れた自然保育の重要性について理解を深め、自然保育の意義についてみんなで考えあう。</p>						
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保育を行うための安全対策を理解し、装備・準備することができる ・仲間と協力しながら、自然保育の内容を構想し、立案、準備、改善、実施、省察を行うことができる ・子どもの姿を観察し記録したことをもとに、自然保育の意義について自分の考えを発表することができる 						
授業計画	回	内容					
	1	オリエンテーション	本授業の概要と目的について理解する				
	2	裏山のフィールドワーク	裏山を歩き、裏山の自然を知る				
	3	自然体験活動	裏山で自然体験活動を行う				
	4	園児向けの自然保育の検討・立案	グループごとに園児向けの自然保育について検討・企画し、計画を立てる。役割分担する				
	5	自然保育の準備	グループごとに自然保育の準備をする				
	6	自然保育の改善	立案・準備した遊びを学生のみで行い、改善する				
	7	自然保育の実施	附属幼稚園の園児と自然保育を行う				
	8	自然保育の省察	自然保育の活動内容を省察する				
	9	他グループの自然保育の改善	他グループの自然保育を行い、改善する				
	10	他グループの自然保育の観察	附属幼稚園の園児が遊ぶ姿を観察する				
	11	他グループの自然保育の省察	他グループの自然保育の省察を行う				
	12	ドキュメンテーション（記録）について①	ドキュメンテーション（記録）の意義と方法を学ぶ				
	13	ドキュメンテーション（記録）について②	ドキュメンテーション（記録）を作成する				
	14	自然保育報告会の準備	これまでの活動と考察の報告の準備をする				
15	自然保育の報告会	これまでの活動と考察を報告する					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保育を行うための安全対策を理解し、装備・準備することができる ・仲間と協力しながら、自然保育の内容を構想し、立案、準備、改善、実施、省察を行うことができる ・子どもの姿を観察し記録したことをもとに、自然保育の意義について自分の考えを発表することができる 						
評価方法	授業態度 40% レポート 20% その他（最終課題） 40%						
フィードバック 方法	課題を確認したら、授業内で返却する						
アクティブ ラーニング	自然保育の実習、グループワーク、プレゼンテーション						
教科書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』内閣府・文部科学省・厚生労働省						
参考書	授業内で随時指示する						
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然保育Ⅰ」を受講していること ・長靴、軍手、帽子などの装備が必要 ・参加型の授業が中心となるので、積極的に参加する力を有することを望む 						
授業外学習	<p>事前学習（30分程度）：自然保育について友人との討議の機会をつくり思考を深めること。 事後学習（1時間程度）：授業で扱った事項に関する学びと自己の課題を「振り返りシート」に記述する。その他、授業内で課題を指示する。</p>						
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する						